

事業所名

放課後等デイサービス 木葉

支援プログラム

作成日

2025 年

2 月

5 日

法人（事業所）理念		障害児が日常生活における基本的動作及び知識技能を習得し、並びに集団生活に適応することができるよう、障害児等の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に 応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行うものとする。		
支援方針		「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」（5領域支援）といった分野内から個々の状況に合わせ必要な支援を提供し、 身体的・精神的機能の適正な発達を促し、社会性を育むことによって日常生活及び社会生活を円滑に営めるようにする。 ※5領域支援とは、「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」の全てを含めた総合的な支援のことをいう。		
営業時間		平日 10 時 00 分から 19 時 00 分まで 学校休業日 8 時 30 分から 17 時 30 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容				
本人 支援	健康・生活	健康的な生活習慣を確立し、日常生活に必要なスキルを向上させることを目的とする。 ①健康状態の把握、②健康の増進、③基本的な生活スキルの獲得 具体的な支援内容：排泄、食事等の指導、日常生活に必要なスキル（整理整頓、着替え、あいさつ、手洗い・うがい等の習慣化、時間の管理等）		
	運動・感覚	日常生活に必要な動作の習得や、感覚の統合を促すアクティビティ等を通じて、身体的な発達をサポートする事を目的とし、本人（利用者、家族含）の状況に合わせ支援を 提供する。 ①姿勢と運動・動作の基本的技能の向上、②姿勢保持、③感覚の特性（感覚の過敏や鈍麻）への対応 具体的な支援内容：バランスボールでの軽運動、ストレッチ、手先の訓練（ビーズ通し、パズル等）、バランス感覚を養う（片足立ち等）		
	認知・行動	思考力や判断力の育成、学習能力の向上、適切な行動の獲得等を目的として、本人（利用者、家族含）の状況に合わせ支援を提供する。 ①感覚や認知の活用、②知覚から行動への認知過程の発達、③認知や行動の手掛かりとなる概念の形成、④数量、数の大小、色等の習得、⑤認知の偏りへの対応 具体的な支援内容：記憶力や集中力を高める作業（パズル、仕分け）、認識力の強化（色や形、数、文字を習得する為のマッチング、模写等）		
	言語 コミュニケーション	将来、日常生活や社会生活を円滑に営むために、言語やコミュニケーション能力を向上させることを目的とし、本人（利用者、家族含）の状況に合わせ支援を提供する。 ①言語の形成と活用、②受容言語と表出言語の支援、③人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得、④指差し、身振り、サイン等の活用、⑤読み書き能力の向上のための支援、 ④コミュニケーションツールの活用、⑦音声、文字等のコミュニケーション手段の活用 具体的な支援内容：言語支援（絵カード、言葉遊びやリズムのある詩・歌で発語を促す）、ゲーム（ルールや他との距離感の構築）		
	人間関係 社会性	将来、日常生活や社会生活を円滑に営むために、言語やコミュニケーション能力を向上させることを目的とし、①～⑥の項目から本人（利用者、家族含）の状況に合わせて支援を提供する。 ①愛着行動の形成、②模倣行動の支援、③感覚運動遊びから象徴遊びへの支援、④一人遊びから協同遊びへの支援、⑤自己の理解とコントロールのための支援、⑥集団への参加への支援、 具体的な支援内容：公共の場でのマナーの練習（公園で遊ぶ、公共交通機関の利用、地域イベントへの参加等）、他との関係作り（挨拶、遊び、お礼、謝る、譲り合い、手伝い、表現等）		
家族支援		面談や、オンライン等によって利用者の家族や兄弟等に対して、 職員が必要に応じて相談援助を行う。	移行支援	利用者が退所後に地域社会への参加・包摂（インクルージョン）を 推進する支援が必要な場合は、利用者の家族等と連携して地域社会への 参加・包摂等の移行支援を行う。
地域支援・地域連携		利用する子どもが地域で適切な支援を受けられ、地域に居場所を持つことが できるよう、関係機関等と連携する。	職員の質の向上	「必要な資質・技術の向上」、「その他必要となるスキル・情報の 構築」等を目的とし、定期的な事業所内外での研修実施をすることで、 職員の質の向上を図る。
主な行事等		不定期開催の行事：季節に合ったイベントの開催（お花見、クリスマス会等）、公園等への外出、調理実習（おやつ、食事等）		